

問 生涯学習部門でも、アイデンティティーを醸成する必要があると思うが。

答 本市を特色づける歴史文化遺産は、文化財保護法などにより、重要な文化財は、国、

県、市による指定、選定、登録をし、修理、整備、防災を含む維持管理を、法や条例に基づき助成を行うことで、国

指定文化財37件、重要伝統的建造物群保存地区1件、国登録有形文化財26件、県指定文化財21件、市指定文化財18件を、着実に次世代へ継承したい。

問 どのような取り組みをされてきたのか。

答 歴史に想う「橿原市博物館で、展覧会や新沢千塚古墳群を活用して草木染めの体験など、市の文化財や文化を題材とした体験学習を実施することで、国民共有の財産である文化財を積極的に活用し、本物が持つすばらしさを体験・体験を通して伝えている。また、豊かな文化財を生かしたまちづくりには、地域の方の協力が必要で、新沢小学校では藍栽培を行い、橿原高校と協力して2月に博学連携企画展の開催を予定している。こ

れにより、学校教育と生涯学習施設の博物館との連携の深化と、歴史に親しむ環境の創出を図り、文化財と地域社会のつながりを深めていけると考えている。

問 本市は景観行政団体だが、景観重要建造物と景観重要樹木の本市の指定状況は。

答 景観重要建造物の指定はない。景観重要樹木は、蘇武橋のエノキ、今井町豊田家の

カイズカイブキの2件である。**問** 伝建地区は建物だけではなく、環境、景観も含めて守る必要があるため、伝建地区内の景観重要樹木の指定は必要なのでは。また、今後の指定に対する考えは。

答 蘇武橋のエノキは、樹齢約400年で根腐れも酷いため、エノキそのものを生き返らせる必要があった。当時、それに指定すると補助金が出るということで指定した経緯がある。景観条例は、色々な地区を指定でき、景観形成推進地区なども盛り込んでいる。伝建地区のように都市計画法や文化財保護法の観点から保護されている地区以外で、景観上保全しなければならぬ地区は、景観形成推進地区な

どの景観法に基づいた景観条例などを活用していきたい。**問** 本市の無形文化財に対するアイデンティティーは。

答 伝統的芸能行事9件、広域的地域催行事が1件、歴史的顕彰行事4件で、合計14団体に対し400万円の補助金を支出している。これは、文化的にも貴重で保存・継承していくべきという観点で、地域の盛り上げ、誘客に繋がるものと考えており、県内の自治体でも例がないものである。また、県事業で「奈良・町家の芸術祭はならあと」に八木町、今井町が参画している。この事業にも分担金を支出し積極的な支援を行っている。伝統的に継承された祭事は、地域のつながりを守るとともに、観光客を呼び込む貴重な文化資源で、途絶えることなく次世代に受け継ぎ、本市の魅力コンテンツとして発信していきたい。また、未来を担う子どもの文化継承として、百人一首入門教室を5回開催し、たくさんのお誘いがあつた。文化教室も開催していきたい。**問** 本市の都市計画におけるアイデンティティーは。

答 地域の資源や特性を生かし、観光、医療など、それぞれの取り組みが有機的につながり、中南和地域の拠点としてその効果が広域圏にも広がるようなまちづくりを目指し、県と「まちづくりに関する包括協定」を締結しており、大和八木駅、医大、神宮前駅周辺地区のそれぞれが目指す将来ビジョンに向けてまちづくりを進めている。今後、都市計画法だけではなく、まちづくりに関連する法律に基づく整備手法を活用し、地域のアイデンティティーを生かしたまちづくりに努めたい。

問 地名などもアイデンティティーの一つと考えるが、八木札の辻の下ッ道、横大路に關しての考えは。

答 八木札の辻は、下ッ道と横大路が交わる日本最古の国道交差点で、それを表す碑などの建設や道路部分にも何かできないかと検討している。八木駅から八木町を経て、おふさ観音、藤原京から明日香へ通じるルートは観光として活用は十分に考えたい。横大路は4年前に竹内街道・横大路1400年と節目の年を迎

え、大阪市から明日香村に至る10市町村と大阪府、奈良県の12自治体で協議会を立ち上げ、現在、竹内街道・横大路の日本遺産登録に向け動いている。

問 餅つき大会は、非衛生で食中毒のおそれがあるのでやめるべきという人もいる。条例で決めた自治体もある。餅つきに関する日本人のアイデンティティーはすごいものがあるが、本市でこのような意見があればどうするのか。

答 餅つき大会で、子どもたちに餅つき体験をさせて餅を持ち帰らせた。ただし、ノロウイルスが流行しているため、大人が別に準備した餅を持ち帰らせるなどの工夫がされたという事例もある。

問 祭りはその地域の地域の一番のアイデンティティーを示すもので、まちづくりに密接に繋がっている。本市には愛宕祭があり、そのなかで一番大事なことは立山だと考えているが、立山をどのような立場で捉えているのか。

答 立山は、それ自体が祭事であり行事ではない。出店もあり、他のイベント等もある中に立山を出して、全体で盛

7